

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第4回目 3月下旬 10:00~10:30

康保会保育園

## 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

和太鼓を叩いて音を楽しもう□

〈テーマの設定理由〉

・普段から手遊びや楽器遊び、リズム遊びに親しんでいる子どもたちが、和太鼓の音や振動を全身で感じながら、様々な叩き方や音の違いを楽しむ姿を見たいと考えたため。  
・和太鼓ならではの大きな音や響きに触れ、音への興味や表現する楽しさを味わえる機会にしたいと考えた。

## 2. 活動スケジュール

・全園児に体験してもらう為クラスごとに活動する日を決め、和太鼓を準備し子どもたちがどのように音やリズムを楽しむか観察する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・3Fホールを使用  
・和太鼓(長胴太鼓・平太鼓等)  
・バチ

## 4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

・和太鼓を実際に叩き、音の大きさや高低、振動を感じる。  
・強く叩く、優しく叩く、速く叩く、ゆっくり叩く等、叩き方による音の違いを体験する。  
・音楽に合わせて自由にリズムを打ったり、友達や保育者と一緒に音を重ねたりして楽しむ。  
・年齢による反応や遊び方の違い、共通点があるのかを観察する。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり〉

〈3歳児クラス〉

・初めは太鼓を思い切り叩いて音を出すことを楽しんでいた。  
・「強く叩いたら大きな音になった!」「優しく叩くと小さい音だね」など音の違いに気付く姿が見られた。  
・保育者のリズムを真似しながら「ドンドン、トントン」と声に出して楽しんでいた。

〈4歳児クラス〉

・友達と一緒にリズムを合わせることを楽しみ、「同じ速さで叩こう」「次は交代しよう」など相談する姿が見られた。  
・「ここを叩くと違う音がする」「ゆっくり叩くとかっこいいね」など、音の変化に興味を持ちながら試して

いた。

・演奏を聞く側と演奏する側に分かれ、互いの音を意識する姿も見られた。

<5歳児クラス>

・グループごとにリズムを考え、「みんなで合わせてみよう」「次は速くしてみよう」と試行錯誤しながら活動していた。

・「お祭りみたいな音にしたい」「動物が歩く音を作ろう」など、自分たちのイメージを音で表現する姿が見られた。

・友達と相談しながら演奏を工夫し、一体感を味わいながら取り組んでいた。

<活動中の様子>



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・和太鼓の力強い音や振動に興味を持ち、どの年齢の子どもも意欲的に参加していた。

・3歳児は音を出す楽しさを味わいながら、音の大きさや強弱に気付く姿が見られた。

・4歳児は友達と音を合わせたり、音の違いを発見したりすることを楽しんでいた。

・5歳児は自分たちでリズムを考えたり、イメージを音で表現したりするなど、主体的に探究する姿が見られた。

・活動を通して、音やリズムへの興味だけでなく、友達と協力して表現する楽しさを共有することができた。

・保護者からも「家で太鼓ごっこをしていた」「音楽に合わせてリズム遊びを楽しんでいる」などの声が聞かれ、活動が家庭での遊びにもつながっていた。